

恒久的援護法を／避難先の善意に感謝／見通しを示して／子どもの進路に奔走／除染にわずかな希望

南相馬市小高区の鈴木一男さん(62)



●現住所 東京都福生市の借上げ住宅

被害と責任を狭く小さなものにとどめようとする加害者(国・東電)が決めた道筋に従わなければならない現状。低線量被曝と長く共存していくかなければならないという未来。このような矛盾を押し付けられた放射能被害者に対し、恒久的援護法が制定され、不安を抱きながら生きている現状から早期に脱却し、未来を語れるようになることが復興への第一歩と考えています。

富岡町大字仏浜の平良ゆかりさん(44)



●現住所 千葉県船橋市の借上げ住宅

震災からはや1年、ずいぶん泣き虫になったな~と思います。ニュースを見たとき、子供たちに友達ができると聞いたとき、旧友から連絡があったときに、人と人とのつながり、なんと心地のいいものか、なんと安心できるものなのか。あちこちで、私たちを支えてくれている人がいることを改めて感じました。だからこそ、今をしっかりと受け止めて「前進あるのみ」なのかな!

浪江町大字権現堂の矢澤浩子さん(51)



●現住所 福島市森合の借上げ住宅

避難先を4ヶ所移動し今の借上げ住宅に入りました。これまでの避難先の方々、今の近隣の方々も親切に接して下さった事が何より嬉しかったです。足りないものはないかと聞いて下さり、家具や家電、野菜や衣類を届けていただきました。「お茶を飲みにいらっしゃい」と誘って下さった方達も…。ストレスでいっぱいの私に人情の温かさがしみて…。皆様の善意に感謝です!

双葉町大字鴻草の紺野アイ子さん(63)



●現住所 白河市関辺川前の借上げ住宅

最初に避難した川俣小学校で原発事故を知り愕然としました!その後、特に辛かったのは先が見えないまままで避難先を転々としていた時の事です。この時の悲しみは表現できない程です。でも避難先での支援団体の方々の優しさに感動させられ、今は家族皆が白河市でお世話になっています。今後については、大好きな故郷に帰れる日を願って頑張っていこうと思っています。

大熊町大字小入野の渡邊恭延さん(66)



●現住所 いわき市好間工業団地の仮設住宅

自宅は福島第一原発の3km圏内。地震後ようやく辿りついた自宅は家財が散乱。すぐさま町内の避難所への指示で何も持ち出すことなく家を離れ翌日にはバスで田村市へ。4月には会津若松市へと移動。三世代で暮らしていた家族もバラバラになってしまった。避難先ではたくさんの方々に支えて頂いたが、今後を考えると現状と見通しをはっきり示してほしいと願っている。

楨葉町大字山田浜の大和田邦洋さん(53)



●現住所 会津美里町字宮里の仮設住宅

次男と三男は就職や進学が決まっていた。しかし震災と原発事故でそれぞれの進路が断たれてしまった。その後約1ヶ月間、いわきと妻の実家がある千葉を何度も往復し、息子たちの就職や進学のために奔走した。その間が一番大変だった。不安定な生活へのストレスもあるが、これまで仕事ばかりだった分、今は家族との時間を大切にしたい。末っ子の成長が一番の楽しみ。

広野町大字下北迫の大塚富佐子さん(43)



●現住所 いわき市常磐関船の仮設住宅

原発事故での避難が、こんなに長くなるとは思ってもみなかった。避難所を提供して下さった県内外の皆様、今も温かいご支援をして下さる皆様に感謝感謝です。除染が始まった事にわずかな希望を持ちながら、美しい自然いっぱいだった我が故郷広野町に、どれだけ人が戻れるのだろうか。完全に収束していない原発の不安に、帰りたくても帰れない切ない思いは募るばかり…。

特集 避難者の声を聴く

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から1年

糸 新聞 第5号

避難している人 みんなの情報紙



がんばろう福島!

“糸”づくり応援事業

福島県委託事業

<糸新聞編集室>

〒963-8835 福島県郡山市小原田2-19-19

TEL024(944)0083

メールアドレス kizuna-fp@utsukushima-npo.jp

<受託・発行>

特定非営利活動法人 うつくしまNPOネットワーク

発行日:毎月1日

<糸新聞(Web版)>

糸新聞

検索

4面 3面 ~ 1面
 ●東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から1年
 特集 避難者の声を聴く
 ●南相馬災害FMの温かい放送好評
 糸つながるふくしまの春
 ●震災で亡くなられた方々の御冥福を
 多くの尊い命を奪っていった東日本大震災から
 一年。亡くなられた方々の御冥福を衷心よりお祈
 りいたします。
 糸新聞スタッフ一同

情報お寄せください

糸新聞編集室では、皆様から
 の情報を待ちしています。避
 難生活であきらめていたこと
 が実現した、仮設住宅の一人暮
 らしのお年寄りを定期的に訪
 問している、避難先や別の地域
 で家業を再スタートさせた、イ
 ベント開催の予定、困りごとな
 ど各種相談、どんな内容でも結
 構です。電話、郵便、メールでお
 寄せください。

本紙連絡先 024(944)0083
 (メール) kizuna-fp@utsukushima-npo.jp
 QRコード

本紙の配布場所募集

糸新聞編集室では、避難生
 活を送る方みなさんにお届けいた
 いと考へております。仮設住宅以外で生活され
 ている方々の目につきやすい
 施設、企業、店舗等で本紙を
 置いていただける場所を募集
 しています。本紙は無料です。